

- 「国連持続可能な開発のための教育の10年」(2005年～2014年)において、あらゆる人々が質の高い教育の恩恵を享受し、持続可能な将来と社会の変革のために求められる価値観、行動、及びライフスタイルを学び、各主体が持続可能な社会づくりに参加する世界を実現することを目指し、関係省庁が連携して本実施計画に掲げられた諸施策を着実に実施することを目的として策定。
- 持続可能な開発のための教育(ESD)において、わが国では持続可能な開発のための環境、経済、社会面の多岐にわたる課題の中で、「環境保全を中心とした課題を入口として、環境、経済、社会の統合的な発展について取り組みつつ、開発途上国を含む世界規模の持続可能な開発につながる諸課題を視野に入れた取組を進める」と明記。

- あらゆる主体が参加・連携すること、環境及び経済、社会のテーマを総合的に扱うこと、参加型アプローチを重視すること、体系的思考力やESDの価値観を重視すること等のESD実施の指針に基づき、政府は施策を推進。
- 初期段階の重点的取組事項として、普及啓発、地域における実践、高等教育機関の取組を提示。
- ESDの推進において個人、家庭、学校、地域、NPO、事業者等の各主体に期待される取組を提示。
- ESDに関する国際協力を推進。
- ESDの10年の評価方法を検討し、中間年(2009年)に見直し、最終年(2014年)に評価。



中国四国地方のESD拠点と先行事例



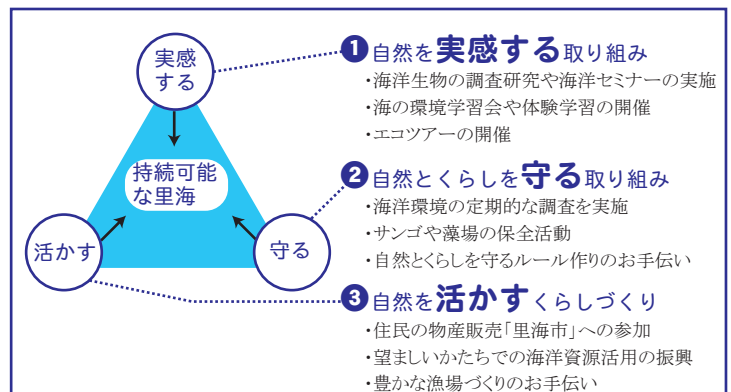
中国四国地方におけるESD活動

中国四国地方には、地図の先行事例以外にも数多くの地域や団体がESDに取り組んでいます。環境保全を中心に、国際貢献、福祉、人権、ボランティアなどの入り口から、地域に根ざした様々な活動を行っています。

環境省ESD促進事業

黒潮実感センター (2006年度採択)

黒潮実感センターは、四国西南端の自然豊かな柏島を「島がまるごと博物館」と捉えた活動をしている団体です。「里海」をキーワードにして、地元住民の方と観光客と共に、持続可能な里海づくりを目指しています。



※里海とは

人が海からの豊かな恵みを享受するだけでなく、人も海を耕し守る。人と海とが共存できる場所・それが私たちの目指す「里海」です。私たちは地元住民の方と会員の皆様と共に、全国に先駆けた里海のモデルを柏島に作るよう努力しています。

関連ウェブサイト

- 内閣官房 <http://www.cas.go.jp/jp/seisaku/kokuren/index.html>
- 外務省 http://www.mofa.go.jp/mofaj/gaiko/kankyo/edu_10/index.html
- 文部科学省 http://www.mext.go.jp/a_menu/kokusai/jizoku/index.htm
- 環境省 <http://www.env.go.jp/policy/edu/desd.htm>
- NPO法人「持続可能な開発のための教育の10年」推進会議(ESD-J) <http://www.esd-j.org/>

発行

中国四国地方環境事務所

〒700-0984 岡山市桑田町18-28

明治安田生命岡山桑田町ビル1、4F

TEL : 086-223-1577 FAX : 086-224-2081

http://chushikoku.env.go.jp/earth/mat/m_2_1.html